

外国語学部 (スペイン・ラテンアメリカ、フランス、ドイツ、アジア) [英語]

- 1-B 2-A 3-C 4-C 5-A 6-D 7-A 8-D 9-D
 10-B 11-C 12-C 13-D 14-A 15-B 16-B 17-D 18-A
 19-C 20-D 21-D 22-D 23-B 24-A 25-C 26-D 27-C
 28-A 29-C 30-D 31-B 32-A 33-A 34-C 35-D 36-C
 37-A 38-B 39-D 40-D 41-A 42-A 43-B 44-A

リスニング

- 49-B 50-C 51-B 52-C 53-C 54-A 55-C 56-D 57-B
 58-B 59-C 60-B 61-A 62-B 63-C 64-C 65-D 66-B
 67-A 68-D

英語

外国語学部 (スペイン・ラテンアメリカ、フランス、ドイツ、アジア)

<全体分析>

解答形式 すべてマーク式	試験時間 90分
分量・難易 (前年比較) 分量(減少・ 変化なし ・増加) 難易(易化・ 変化なし ・難化)	
出題の特徴 特になし	
その他トピックス 長文読解(AⅡ)が2題から1題に減少した。	

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
AⅠ	文法・語法	文法・語法・熟語	標準的な文法問題と、動詞・名詞・形容詞・前置詞などの語法が出題されている。11. 12. 13. は名詞の語法を問う問題。	標準
AⅡ	読解総合 (長文内容一致)	「欧米の労働時間」	「アメリカとヨーロッパの週労働日数や時間」について述べた文章。27. は与えられた文を本文中のある場所に入れる問題だが、[A]～[D]の前の文とのつながり考えることが大切。	標準
AⅢ	英語総合	中文空所補充	「音楽が脳に及ぼす作用」。文脈と、動詞・名詞などの語義・語法を問う問題。32. work out は重要な名詞の表現。	標準
AⅣ その2	聞き取り	会話・長文形式	Aは会話に対してそれぞれ1問ずつ内容一致の問題が出される(10問)。Bは会話に対してそれぞれ2問ずつ内容一致問題が出される(10問)。A・Bいずれも長文が出される場合もある。放送は1回しか聴き取れない、会話や長文の難度はそれほど高くないが、選択肢が紛らわしいことがあるので注意が必要。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

AⅠでは標準的な文法と、動詞・名詞・形容詞・前置詞などの語法・熟語が出されるが、こうした知識を問うものは本番までの地道な努力が物を言い、大きな差となって現れるのでしっかり勉強しておくこと。AⅡの長文読解では、内容的に難度の高いものも出ているので、難しい内容の英文に慣れておくこと。AⅢの中文空所補充は、文法・語法の知識のほかに、前後の文脈から正しいものを選ぶ練習をしておくことよい。リスニングは90分のうちのおよそ20分を占めるので、残りの70分で筆記部分を解くことになるため、筆記の問題を素早く解く練習が必要である。AⅠやAⅢの問題にあまりこだわりすぎないで、AⅡの長文にじっくり時間をかけることが成功の秘訣だ。リスニングは日ごろからNHKのラジオ・テレビ講座などで常に耳を鍛えること。英検(2級～準1級)のリスニング対策問題集も役に立つ。